

科目コード	34370	科目名	保育・教職実践演習	単位	1
-------	-------	-----	-----------	----	---

次の設題について、1,500字程度でレポートを作成してください。

設 題 1

幼児期における新たな集団活動の意義や留意点等について、「異年齢保育」と「統合保育」という点から説明しなさい。

— 作成の手引き —

- 1 特に、テキスト第5章 P51～P65の内容を熟読してください。
- 2 異年齢保育の形態、実践の方法、ねらいや意義についてまとめましょう。
- 3 異年齢保育を進めていく上での配慮事項や留意点をまとめましょう。
- 4 インクルージョンという概念を理解し、統合保育の意義についてまとめましょう。
- 5 統合保育を進めていく上での配慮事項や留意点を、「保護者支援」「保育者チームとして携わる」「専門機関との連携」という観点から学習し、まとめてください。
- 6 その他、テキスト以外の文献等も参考にして、学習知を高めましょう。

参 考 書

- 本学テキスト「保育・教職実践演習」
- 文部科学省（2018）幼稚園教育要領解説 フレーベル館
- 厚生労働省（2018）保育所保育指針解説 フレーベル館
- 内閣府・文部科学省・厚生労働省（2018）幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館

【学習の目的・ねらい】

これまで学んできた学習知と教育実習等で得られた指導力や実践知とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身につけた「学級担任ができる」人材を育てる。
その際、教育現場・保育現場で直面する問題に対して対応力を学ぶことをねらいとする。

【学習の進め方】

- 1 設題の意味を理解し、本学テキスト「保育・教職実践演習」を熟読することによってレポート作成に何が必要かを掴む。
 - (1) 教師という職業
 - (2) 学級担任の役割
 - (3) 特別支援教育の基礎
 - (4) 特別支援教育と教師・保育者
 - ① 「特別な教育ニーズ」をもつ子どもと保護者への対応
 - ② 教師・保育者における支援の留意点とポイント
 - ③ 「特別な教育ニーズ」をもつ子どもの保護者への対応
 - (5) 保育における集団の編成
 - ① 異年齢保育
 - ② 統合保育
 - ③ 幼児教育の将来的展望
- 2 文献等による調査、研究を行う。
 - (1) できる限り、文献等にも目を通すこと。
 - (2) 文献等の中の文章をそのまま引用するだけでなく、自分の言葉で表現すること。

【学習のポイント等】

- 1 教師・保育者に求められる資質や能力について、テキスト「保育・教職実践演習」等を精読し理解すること。
- 2 学級担任の役割について理解すること。
- 3 「一人ひとりを大切にするとはどうすることなのか、テキストや文献等の具体的な事例等によって、理解を深める。
- 4 実習園の様子や実習先で学んだことなどがあれば、参考とすること。